

みなみたね 第3回定例会



議会だより

第155号

発行
平成28年11月1日

■発行責任者：南種子町議会議長 小園 實重 ■編集：議会広報編集委員会 ■住所：南種子町中之上 2793-1 電話 26-1111



種子島宝満神社国指定記念シンポジウム

平成28年第3回定例会(9月定例会)が9月14日～21日まで開催されました。

主な内容

- 一般質問(4名)..... 2～5
- 条例案件・発議・人事..... 6
- 論点(補正予算審議より)..... 7
- 議会傍聴について・編集後記..... 8

一
般
質
問



上園 和信 議員

農業施設の経営について

上園 肉用牛キャトルセンター平成27年度の経営状況は。

町長 年間受入れ数は295頭、前年度比で24頭増、セリ出荷数265頭、前年度比16頭減、預託農家数は25戸、前年度比で2戸減、収支決算は、収入が1830万5000円、支出が2650万1000円、差引き819万6000円の赤字。職員は契約職員2人で、1人はキャトルセンターと堆肥センターの現場責任者を兼ねている。

上園 現在の子牛預託数と預託率は。

町長 現在の子牛預託数は118頭、預託率は59割です。

上園 キャトルセンターオープン時と現在の畜産農家戸数は。

町長 オープン時114戸、現在は90戸で24戸の21割

減となっている。

上園 セリでは子牛が高値で取引きされているようだ、セリ取引き状況は。

町長 直近の7月セリの価格は、種子島平均で1頭72万7千円、前年度比で10万から14万円程高くなっている。

上園 堆肥センター平成27年度の経営状況は。

町長 堆肥仕込み量3084ト、堆肥販売量938ト、販売は821万9000円。収支決算は、収入が821万9000円、支出は2909万4000円で、2147万4000円の赤字。職員は契約職員3人、臨時職員1人です。

上園 キャトルセンターと堆肥センター、赤字の主な原因はどこにあると分析するか。

町長 キャトルセンターは、預託頭数の確保が一番であり、計画比の67割。2番目に預託期間が前年比71割で、支出の部では、賃金比率が138割、飼料、肥育上の原材料、動力光熱費などの経費については経費節減に努め、当初からするとかなり低く抑えられている。詳細な分析を行い、正確な運営ができるよう努力したい。

堆肥センターは、排せつ物の原料受入れ数量が当初計画の56割、収入の部では堆肥販売代金が44割とかなり低い。堆肥販売量が少ないため、経費節減には努めているが、牛ふん原料購入費、木質粉砕機等修繕、賃金、原料費、光熱費等が引き下げられずに、赤字の大きな要因になっているが、分析の結果から言えば、早急な対応が必要と考えている。

上園 両施設、早く赤字経営から脱却し、経営を軌道に乗せ、農畜産物の生産性を高め、農業全般の振興を図り、農

家所得の向上に資する施設として経営していく必要がある。この施設、今後の経営をどう講じていくか、その方針を示せ。

町長 両施設とも軌道に乗せる最善の努力をしたいと考えている。農業振興の拠点施設として継続していくよう、民間等への移行も視野に取組んでまいりたい。

上園 このキャトルセンターは、飼養頭数を増やしたり、1日当たりの利用料金を引き上げることによって経営は改善されるのではないかと思う。1日1頭あたりの利用料金を引き上げる考えはないか。

町長 現状で引き上げることについては、総合的に検討しなければならないので、今は返答することはできない。



塩釜 俊朗 議員

防犯指導員について

塩釜 防犯指導員設置については、平成27年9月定例会において防犯対策の中で質問をいたしました。西之・島間・荃永・上中・4つの駐在所が統合することによって、さらなる安心安全なまちづくりに寄与する交番になることと思っております。しかし移転するにおいては不安だから駐在所の存続を求める声もあり、少なからず地域住民は犯罪等の不安などを懸念するところでもあります。今回で3度目の質問であります。組織の立ち上げでも行政のほうで出来ればという声もあります。町長の答弁では、いい提案だと思ふ。警察のほうとも協議してまいりたいとのことでしたが、どのように話し合いが進められたのか進捗状況は。

町長 もしも本町で防犯指導員を設置する場合には、どのような方法での運用が適しているかなども含め、調査研究をしている。平成29年度からは交番制になるという問題もあり、町民の安全や安心に対する政策の推進を行うっていく上で、防犯指導員は犯罪における事前の抑止力としても大きな効果や意味があると考えますので、十分検討して先へ進めたい。又早急に方向性をお示ししたい。

交通弱者対策について

塩釜 昨年の6月定例会において、総務文教委員会の所管事務調査としてコミュニティバス運行拡充について調査し、その結果を今年の3月定例会において報告をいたしました。議会の意見として執行当局に申し入れをしておりました。「現在運行しているコミュニティバスの利用実態を調査し今後の運航形態について早急に検討し、巡回バス、デマンドタクシーについても調査研究すべきである。」このように提案いたしました。現在までの進捗状況は。

町長 今のバスの台数では、運行充実することは不可能。企画課に検討を指示している。

企画課長 今のバスの台数の現状のままでは運行拡充、デマンド導入することは、基本的には難しいと考える。対費用効果などを考えると運行拡充は慎重に行わなければ

ならないと考えている。既存のバス事業者との運行路線を含め、総合的な対策を取らないといけないので、もう少し時間をいただきたい。

塩釜 島内の路線バス運行形態であります。島内の運行会社は1社。往路宇宙センター西之表まで6便、復路についても同様な運行で1日6便であります。聞くところによると6便体制を減便するという声を聞くが、離島へき地の交通対策として必要な路線バスに対して何らかの助成等の対策はしてきたのか。6便体制確保についてどのような考えているのか。

町長 大和バスさんにも現状の便を維持しながら、運行していただくよう方策を検討している。関係団体、機関とも協議が続くということで時間をいただきたい。

医療行政について

塩釜 医師不足で地方の病院では医師確保に向け努力しているものの、なかなか常勤医師確保は厳しいようです。今回は、看護師不足について質

問いたしますが、関係のある福祉施設、病院等に聞いたところ、看護師確保が厳しいようです。中学校では島外の高校で医療関係が設置する高校に進学、高校では看護大学、医療関係の専門学校に進学する生徒も少なからずいると聞きます。看護師の養成所があれば、いろんな面で良い波及効果があるのではないかと、1市2町の行政が一つになり、関係する医療機関・団体との協議を進めるのは、公立病院設置町である本町が音頭をとって推進すべきではないか。

町長 看護学校を含んで誘致するという点は非常に難しい問題があります。教える先生方が外科だけでなくいろんな医療科の先生方が全部教えるわけですから、1市2町で学校をつくって、講師を常勤させてやるのは不可能だと予測される。しかし資格者でないと、経営するそれぞれの施設の補助金ももらえませんが、非常に重要な問題として、根気強く取り組む必要があると感じている。公立病院の人材確保の問題もありますから、検討する必要があります。思います。



西園 茂 議員

定員管理・人事管理の適正化について

西園 第6次町財政改革

大綱の基本施策、組織の効率化と職員の資質向上で、定員管理・人事管理の適正化を図るとしているが、何を根拠に適正化を図っているのか。

町長 国の示す集中改革

プランを基本としながら、人口規模・産業構造を基準にした類似団体との平均値を参考にしながら、職員の定員管理・人事管理に努めている。

西園 定員管理は役場内

の年間の業務量で、人事管理は業務内容を掌握する事で可能だが、職員に業務報告・業務日誌の提出をさせる考えはないか。

町長 現在、職員が124

名・契約職員が80名・パート職員50名いますので大変なことです。しかし重要なことですので、今後検討する必要があります。

あると考えます。

畜産振興について

西園 平成23年度の予算

で、繁殖牛の導入300万円が計上され、その後、外された経緯がありますが、今後導入するのか。

町長 畜産振興は重要と

考えます。今後検討したい。

西園 本町の子牛生産額

9億円程度です。今後は生産性のアップと尚一層のコスト提言が必要です。多くのメリットがある遊休農地の放牧利用を実施する考えはないか。

町長 町内には、遊休農地

が101軒あります。遊休農地の有効活用、畜産農家の施設投資軽減など有利な面がありますので、農業委員会・総合農政課あるいは関係機関

と協議し進めたい。

茶農家の経営改善について

西園 茶農家の減少、茶葉

の減少による工場の運営に困難をきたしています。茶農家の経営継続に対策は打てないのか。

町長 価格の低迷により、

経営が非常に重大な局面に來ていると感じています。今後は売れる物づくりとして生産対策・品質向上対策・加工経営対策等に取り組みたい。

西園 地域のコミュニティ

が活発化すれば人口減少の歯止めになると言われていますが、各地区の地域支え合い推進協議会の活動についてはど

地域支え合い推進協議会について

うしているのか。

保健福祉課長 住みなれ

た地域で安心して生活ができる体制の整備に向けて取り組むを進めている。ゴミ出しの支援・見守り、声掛けを地域で行う体制の整備・毎週水曜日の介護予防教室・身近な集いの場、サロンの開設など、始まったばかりです。又、河内温泉センターで毎週金曜日、ロコモ体操を実施しています。





日高 澄夫 議員

国保税の均等割・平等割の引き下げを

日高 国保税応益割部分の均等割・平等割を引き下げてください。平成30年度から都道府県化になれば、国保税の引き下げは、多分に不可能になるのではないかと思っています。均等割・平等割の引き下げにこだわる理由は、多子世帯、母子世帯、高齢者世帯の納税が大変だからです。南種子町、西之表市と比較してみます。

南種子町、均等割の医療分
|| 人数 × 2万5000円。
介護保険分 || 人数 × 9000円。高齢者医療分 || 人数 × 8000円。平等割は世帯当りの定額で、医療分2万3000円。介護保険分8500円。高齢者医療分6500円。
西之表市、均等割の医療分
|| 人数 × 2万2500円。
介護保険分 || 人数 × 6500円。高齢者医療分 || 人数 × 8000円。平等割は、医療分2万1000円。介護分5000円。高齢者医療分6500円。親子4人の母子世帯で計画すると応益割(均等

割・平等割)額は、南種子町が20万6000円。西之表市は18万5000円です。南種子町が2万5500円も高いです。

平成27年2月24日の「国民健康保険の見直しについて」の厚生労働省の説明では、公費拡充などによる財政基盤の強化で、低所得者、保険税の軽減対象者に応じた保険者への財政支援(平成26年度およそ980億円。平成27年度およそ1700億円)の拡充です。被保険者1人当たり約5000円の財政改善効果になると厚労省は示しています。しかし、6月議会で税務課長は1700億円の財政措置について、保険税が軽減されたり、税率が下がったりすることがないということでした。

保険基盤安定負担金の中では、保険税軽減分及び保険者支援分に追加の措置はないので、税率の改正を行わず運営できているものと考えています。と答弁していますが、私は逆にこの1700億円で南種子町に配分される額を基礎

にして税率の改正に活用していただきたい。首長の裁量です。南種子町に決断して、国保運営協議会に諮問すれば解決できると考えます。ですから応益割の均等割と平等割の引き下げは、弱者対策としてしっかり制度化していただきたいと思っています。

町長 国保税の応益割、応益割については、標準的な割合が示されており、他自治体もこれに沿って課税されています。西之表市との比較を示されたが、基本的には国保税を引き上げる、引き下げるについては、国保運営協議会で審議していただくために、諮問することになっていきますので、協議会の意見を尊重したいと思っています。

日高 河内温泉プールの営業について、土日の週2日営業ですが、これを元に戻して下さい。

河内温泉プールの営業について

町長 検討したいと思います。

梶原前町長の書類送検について

日高 梶原前町長の書類送検について情報公開を十二分に公開する用意がありますか。私は、24・25年一般質問で追及してきましたが、梶原前町長は一般質問では拒否したり、情報公開請求ではことごとく非開示でした。梶原前町政は、絶対多数の梶原シンパで盤石でしたから「ばれなければ」という考えがあったのではないのでしょうか。町長は真相を明らかにするために情報公開を十二分に実施する用意があるか伺います。

町長 この件については、現段階では司法・警察に委ねられているので、町長としては、法律条例等に基づいて対処していきたい。

条例

南種子町税条例の一部を改正する条例制定

所得税法等の一部改正により、町税条例の一部改正です。

南種子町国民健康保険条例の一部を改正する条例制定

所得税法等の一部改正により、町国保税の一部改正です。

南種子町指定地域密着型サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定

平成28年4月1日、利用者18人以下の通所介護事業所及び療養通所介護事業所は、地域密着型サービスに位置づけられます。

指定、指導権限が1年の経過措置を設け、県から市町村に移譲されることになったため、一部改正です。

(質疑)本町に該当施設がありませんか。
(答弁)島間の夢福です。



南種子町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定

一部改正の理由は、上記の議案の改正理由に同じです。

南種子町特定職員等住宅管理条例の一部を改正する条例制定

特定職員等住宅は、高校の統合により、平成22年鹿児島県から譲与され、種子島中央高校の教職員が入居されていたが、今年3月の転勤後、入居がないので一部改正をするものです。

字の区域変更

鹿児島県が施工した中山間地域総合整備事業により、字の区域に変更が生じたため、本町内の字の区域を変更するものです。

以上6件の議案が上程され、質疑があったのは一議案だけ。他は質疑・討論なく、原案どおり可決されました。

発議

発議第3号

子ども医療費、重度心身障害者医療費等の助成事業における(自動)償還払い方式から現物給付方式への移行を求める意見書

(提案理由)

現在、子ども医療費や重度心身障害者医療費等に対する助成は、医療機関の窓口で一旦支払い、数カ月後に助成される償還払い方式となっております。子育て世帯や重度の障害者を取り巻く環境は、依然として厳しく、保護者等の医療機関窓口での負担軽減を図り、いつでも安心して必要な医療を受けられるようにすること。

三反園知事の、今回県知事選の選挙公約であること。

記

子ども医療費、重度心身障害医療費等の助成事業における医療費の負担方法を、(自動)償還払い方式から現物給付方式へ移行されること
[送付先]
鹿児島県知事

人事

教育委員任命

園田 昭眞(68歳)
南種子町中之上2058番地17
昭和23年8月28日生



園田 昭眞氏

論

点

―補正予算審議から―

質疑 総務費の普通旅費で今回150万円補正している。当初予算と合計して400万円の予算であるが、昨年と比較するかどうか。又、その内訳は。

総務課長 昨年と同額の予算計上である。内訳としては、飛鳥村との友好・盟約やJAXA関連企業との連絡会議。又、他の友好都市との交流予算です。

質疑 シルバー人材センター設立準備補助で792万1000円計上しているが、その内訳は。

保健福祉課長 事務局長と補佐の6ヶ月分の人件費で280万円。その他、軽トラック、軽自動車、事務用品等の購入である。準備委員会を社会福祉協議会と協力しながら

立ち上げ、会員の募集、規約の整備などの事務作業を進める。遅くとも今年度中にシルバー人材センターを設立したい。

質疑 当初予算に計上しなかつた理由は何か。

保険福祉課長 行政の懸案事項であり町民の意見を集約する必要があつた。その為のアンケート調査が1月になつてしまい、当初予算に計上することが出来なかつた。

質疑 このシルバー人材センターには、国の補助事業があるがその制度を導入するつもりか。

町長 既に西之表市が法人化をし国の補助金を活用して運営している。登録人数とか実働時間等、クリアしなければならぬ課題は多いが、

最終的には西之表方式が望ましいと考えている。

質疑 シルバー人材センターでの仕事の内容は。

保健福祉課長 準備委員会の中で様々な団体の代表者も入つていただいて、協議を進めていきたい。

質疑 農業総務費の公用車230万円はどのような活用をするのか。

総合農政課長 平成16年度にバンタイプの中古車を購入していたが、走行距離で20万キロを超しており故障も多く、修理不能な部分もあるという事で計上した。農林水産業関係の現地巡回、指導、視察等の農業振興に関する対策として使用する。

質疑 堆肥センターの修繕費が今回で3回目の補正である。当初予算で十分精査して計上すべきではないか。

建設課長 観光地等の整備の目的で新たに購入するものです。国県支出金の地域振興事業活用で2分の1補助の事業です。

総合農政課長 現在、機械の自主検査を3月に行っている。それを11月頃にして、当初予算に計上出来ないか検討したい。

質疑 竹崎漁港の調査費426万円の事業内容は。

総合農政課長 竹崎漁港内に関係する土砂の埋設量を含めた調査です。

建設課長 現在約1材ほどの堆積物が堆積している事と砂を海捨てる場合にはダイオキシン等の底質の砂等の状態を調査しなければ、その工事が実施できない状況になつているので、そのための調査ということです。

質疑 道路維持費でタイヤシヨベル666万9000円計上しているが買い替えか。新規の購入か。

建設課長 観光地等の整備の目的で新たに購入するものです。国県支出金の地域振興事業活用で2分の1補助の事業です。

質疑 ふるさと創生事業の地域おこし協力隊の導入予算が減額されていますが、その理由は何か。

企画課長 2名に採用通知を出したが、応じていたけなかつた。現在採用してないので人件費の減額です。今後は募集の広告に力を入れています。

質疑 県民体育大会への補助金が50万円計上されているが、出場種目と出場選手数は。

社会教育課長 ゴルフ競技4名、ラグビー・フットボール競技4名、バドミントン男子3名、女子2名、陸上競技3名、水泳競技1名、テニス女子3名、ソフトボール15名、合計で35名です。

議会を傍聴してみませんか

町民の皆様に、町議会の活動や町政の進め方などをよく知っていただくために、多くの方に傍聴していただきたいと考えています。

傍聴するときは、傍聴者名簿に住所・氏名・年齢を記入するだけで傍聴できます。

町議会の定例会は、年4回（3月・6月・9月・12月）開催されています。開催日が決まりましたら防災無線でお知らせいたします。

詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

問い合わせ先 ☎26-1111（内線280・281）

南種子町のホームページについて

南種子町のホームページでは、次のような情報を掲載しています。

是非ご覧ください。

- 定例会の会議録（平成27年第2回定例会分から）
- 議会だより（平成22年6月発行分以降）
- 議会会期日程・一般質問通告書（質問する事項をまとめたもの）
- 請願・陳情の提出方法 等



編集後記

本定例会でも補正予算を含め、数多くの議案が成立しました。将来の町民生活に関わる一歩が決まっています。

補正予算では、シルバー人材センターの設立予算が決まりました。本町でも、人口減少と相まって労働力不足が現実化しています。町民の生活を考える時、きびしい財政状況ですが、生産性を上げることが急務です。少ない投資で多くの利益を求めることが必要と考えます。

乳幼児、ひとり親家庭、重度、心身障害者の医療費の「窓口無料化を求める」意見書を全会一致で可決。県知事に提出しております。患者が躊躇なく通院できることが目的ですが、早く実現する事を期待しています。

議会では町民に直結する事案が決まります。多くの町民の意見を繁栄させることが基本ですので、機会ある毎に御意見を聞かせ下さい。

議会広報編集委員会
（文責）大崎 照男